

運用報告書 (全体版)

世界好配当アドバンスト・インフラ株式ファンド円コース

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／株式	
信託期間	2011年3月10日から2021年2月15日(当初2016年2月15日)までです。	
運用方針	投資信託証券を主要投資対象として、配当等収益の確保と投資信託財産の成長を目指して運用を行います。	
主要運用対象	当ファンド	投資信託証券。
	シンコウ・グローバル・インフラストラクチャー・エクイティ・ファンド - JPYクラス	主として世界各国に上場するインフラストラクチャー関連の株式など。
組入制限	短期公社債マザーファンド	わが国の公社債。
	当ファンド	投資信託証券および短期金融商品(短期運用の有価証券を含みます。)以外には投資を行いません。投資信託証券への投資割合には制限を設けません。
分配方針	短期公社債マザーファンド	株式への投資は行いません。外貨建資産への投資は行いません。
	①分配対象額の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の利子・配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。 ②分配金額は、委託者が基準価額水準や市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。 ③留保益の運用については、特に制限を設けず、運用の基本方針に基づいた運用を行います。	

第89期	<決算日	2018年9月18日>
第90期	<決算日	2018年10月15日>
第91期	<決算日	2018年11月15日>
第92期	<決算日	2018年12月17日>
第93期	<決算日	2019年1月15日>
第94期	<決算日	2019年2月15日>

受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

さて、「世界好配当アドバンスト・インフラ株式ファンド円コース」は、2019年2月15日に第94期の決算を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

<運用報告書に関するお問い合わせ先>

コールセンター：0120-104-694
 受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで
 お客さまのお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

アセットマネジメントOne 株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2
<http://www.am-one.co.jp/>

○最近30期の運用実績

決算期	基準価額			Dow Jones Brookfield Global Infrastructure Composite Yield Index Total Return		Dow Jones Brookfield Global Infrastructure Composite Yield Index Total Return (円換算)		債券組入比率	投資信託証券組入比率	純資産額		
	(分配)	税金	み	期	中	期	中				期	中
円	円	円	%	%	%	%	%	%	百万円			
65期(2016年9月15日)	11,362	80	△2.3	4,733.79	△2.7	485,213.48	△1.7	0.6	95.8	1,095		
66期(2016年10月17日)	11,205	80	△0.7	4,711.42	△0.5	491,165.54	1.2	0.6	94.5	1,026		
67期(2016年11月15日)	10,457	80	△6.0	4,419.30	△6.2	476,798.28	△2.9	0.4	95.9	930		
68期(2016年12月15日)	10,796	80	4.0	4,618.18	4.5	543,652.15	14.0	0.4	96.1	960		
69期(2017年1月16日)	11,033	80	2.9	4,731.34	2.5	540,934.10	△0.5	0.3	94.9	1,007		
70期(2017年2月15日)	11,075	80	1.1	4,867.85	2.9	557,368.83	3.0	—	94.7	987		
71期(2017年3月15日)	11,023	80	0.3	4,798.26	△1.4	550,984.20	△1.1	—	97.1	959		
72期(2017年4月17日)	11,419	80	4.3	5,025.45	4.7	544,205.98	△1.2	—	94.8	1,021		
73期(2017年5月15日)	11,409	80	0.6	5,015.73	△0.2	568,934.25	4.5	—	94.6	1,060		
74期(2017年6月15日)	11,300	80	△0.3	5,064.10	1.0	555,633.05	△2.3	—	94.0	1,084		
75期(2017年7月18日)	11,066	80	△1.4	5,092.73	0.6	572,575.63	3.0	—	94.5	1,098		
76期(2017年8月15日)	11,015	80	0.3	5,091.33	△0.0	561,115.48	△2.0	—	96.0	1,129		
77期(2017年9月15日)	11,041	80	1.0	5,216.09	2.5	574,865.28	2.5	—	96.1	1,171		
78期(2017年10月16日)	10,864	80	△0.9	5,137.96	△1.5	575,862.56	0.2	—	94.2	1,207		
79期(2017年11月15日)	10,669	80	△1.1	5,007.95	△2.5	568,302.17	△1.3	—	95.6	1,196		
80期(2017年12月15日)	10,707	80	1.1	5,092.11	1.7	572,353.16	0.7	—	95.7	1,198		
81期(2018年1月15日)	10,517	80	△1.0	5,158.86	1.3	572,117.57	△0.0	—	94.9	1,147		
82期(2018年2月15日)	9,714	80	△6.9	4,837.21	△6.2	516,904.26	△9.7	—	96.6	1,037		
83期(2018年3月15日)	9,801	80	1.7	4,836.15	△0.0	512,825.35	△0.8	—	95.9	1,037		
84期(2018年4月16日)	9,522	80	△2.0	4,782.31	△1.1	514,146.15	0.3	—	97.1	994		
85期(2018年5月15日)	9,776	80	3.5	4,948.69	3.5	543,069.24	5.6	—	96.1	985		
86期(2018年6月15日)	9,735	80	0.4	4,911.21	△0.8	543,572.72	0.1	—	96.9	955		
87期(2018年7月17日)	9,864	80	2.1	5,026.05	2.3	565,129.06	4.0	—	96.8	949		
88期(2018年8月15日)	10,044	80	2.6	5,096.26	1.4	567,723.36	0.5	—	94.7	946		
89期(2018年9月18日)	9,716	80	△2.5	5,039.00	△1.1	563,511.37	△0.7	—	96.0	857		
90期(2018年10月15日)	9,365	80	△2.8	4,849.32	△3.8	543,269.32	△3.6	—	95.9	806		
91期(2018年11月15日)	9,189	40	△1.5	4,790.85	△1.2	544,575.92	0.2	—	95.9	736		
92期(2018年12月17日)	9,085	40	△0.7	4,798.66	0.2	544,503.95	△0.0	—	96.3	707		
93期(2019年1月15日)	9,175	40	1.4	4,820.66	0.5	522,559.54	△4.0	—	96.1	702		
94期(2019年2月15日)	9,553	40	4.6	5,066.00	5.1	559,489.04	7.1	—	96.5	686		

※基準価額の騰落率は分配金込み。

※△(白三角)はマイナスを意味しています(以下同じ)。

※債券組入比率は、親投資信託の比率を当ファンドベースに換算した実質比率です。シンコウ・グローバル・インフラストラクチャー・エクイティ・ファンドーJPYクラスが組み入れた比率は含まれておりません。

※Dow Jones Brookfield Global Infrastructure Composite Yield Index Total Return, Dow Jones Brookfield Global Infrastructure Composite Yield Index Total Return (円換算)は当ファンドの参考指数であり、ベンチマークではありません。

※Dow Jones Brookfield Global Infrastructure Composite Yield Index Total Return (円換算)は、Dow Jones Brookfield Global Infrastructure Composite Yield Index Total ReturnをアセットマネジメントOneが円換算したものです。

※ベンチマークとは、ファンドの運用成果の評価基準(目標基準)となる指標をいい、約款または投資信託説明書(目論見書)において、その旨の記載があるものを指します。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

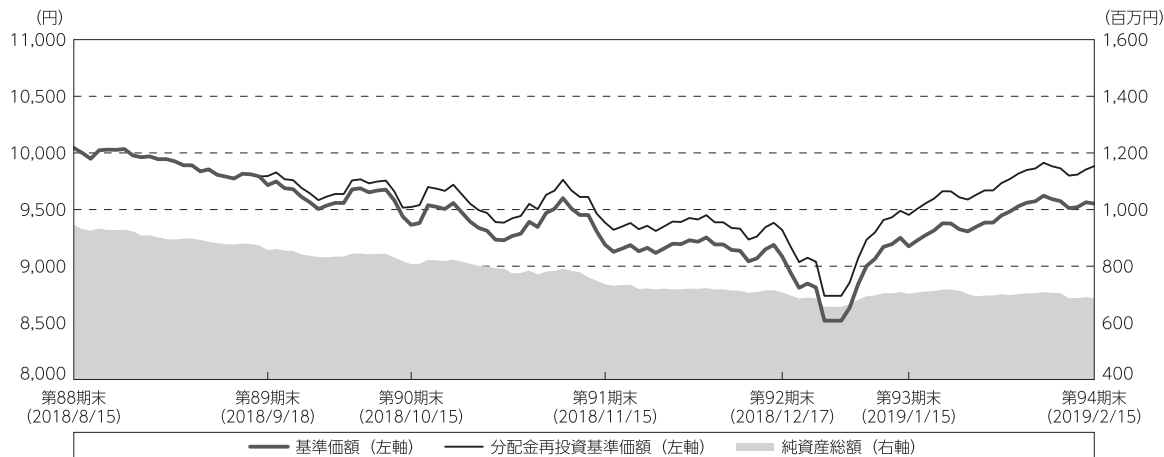
決算期	年 月 日	基準価額		Dow Jones Brookfield Global Infrastructure Composite Yield Index Total Return		Dow Jones Brookfield Global Infrastructure Composite Yield Index Total Return (円換算)		債 券 組 入 比 率	投 資 信 託 証 券 組 入 比 率
		円	騰 落 率		騰 落 率		騰 落 率		
第89期	(期首) 2018年8月15日	10,044	—	5,096.26	—	567,723.36	—	—	94.7
	8月末	9,925	△1.2	5,083.04	△0.3	564,522.42	△0.6	—	96.7
	(期末) 2018年9月18日	9,796	△2.5	5,039.00	△1.1	563,511.37	△0.7	—	96.0
第90期	(期首) 2018年9月18日	9,716	—	5,039.00	—	563,511.37	—	—	96.0
	9月末	9,536	△1.9	4,943.88	△1.9	561,476.45	△0.4	—	97.0
	(期末) 2018年10月15日	9,445	△2.8	4,849.32	△3.8	543,269.32	△3.6	—	95.9
第91期	(期首) 2018年10月15日	9,365	—	4,849.32	—	543,269.32	—	—	95.9
	10月末	9,267	△1.0	4,750.15	△2.0	538,001.99	△1.0	—	96.0
	(期末) 2018年11月15日	9,229	△1.5	4,790.85	△1.2	544,575.92	0.2	—	95.9
第92期	(期首) 2018年11月15日	9,189	—	4,790.85	—	544,575.92	—	—	95.9
	11月末	9,229	0.4	4,828.36	0.8	547,874.01	0.6	—	96.0
	(期末) 2018年12月17日	9,125	△0.7	4,798.66	0.2	544,503.95	△0.0	—	96.3
第93期	(期首) 2018年12月17日	9,085	—	4,798.66	—	544,503.95	—	—	96.3
	12月末	8,634	△5.0	4,483.29	△6.6	497,645.19	△8.6	—	97.1
	(期末) 2019年1月15日	9,215	1.4	4,820.66	0.5	522,559.54	△4.0	—	96.1
第94期	(期首) 2019年1月15日	9,175	—	4,820.66	—	522,559.54	—	—	96.1
	1月末	9,483	3.4	5,018.66	4.1	546,833.19	4.6	—	96.9
	(期末) 2019年2月15日	9,593	4.6	5,066.00	5.1	559,489.04	7.1	—	96.5

※期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

※債券組入比率は、親投資信託の比率を当ファンドベースに換算した実質比率です。シンコウ・グローバル・インフラストラクチャー・エクイティ・ファンドーJ P Yクラスが組み入れた比率は含まれておりません。

運用経過の説明

基準価額等の推移（2018年8月16日～2019年2月15日）



第89期首：10,044円

第94期末：9,553円 (既払分配金:320円)

騰落率：△ 1.6% (分配金再投資ベース)

- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまが利用するコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
- (注4) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示してあります。
- (注5) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主として世界のインフラ関連企業が発行する上場株式などに実質的に投資することによって、配当等収益の確保と投資信託財産の成長を目指すファンドです。

当作成期間の基準価額は、実質的に投資する上場株式などはプラス寄与となりましたが、外国為替取引のコストなどがマイナス寄与となり、第89期首の10,044円から下落し、第94期末には9,873円となりました。

※文章中の基準価額は、当作成期間における分配金（累計）を加算しています。

投資環境（2018年8月16日～2019年2月15日）

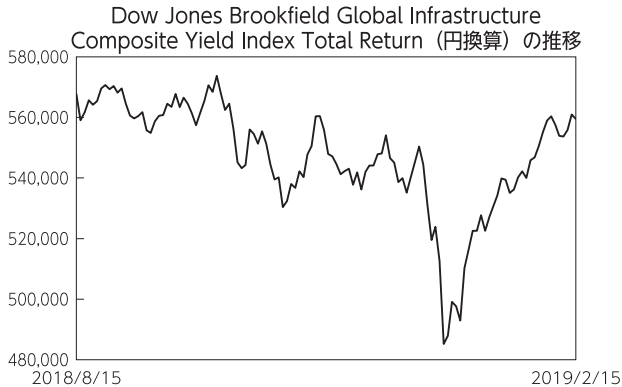
インフラ関連株式市場

第89期初のグローバル株式市場は、好調な企業業績を背景に高値圏で推移していましたが、2018年9月にトランプ政権が対中追加関税を発動したため上値の重い動きとなりました。10月以降はIMF（国際通貨基金）が世界経済の成長見通しを下方修正したことや企業が慎重な業績見直しを行ったことなどから先行き不透明感が強まり下落する展開となりました。12月には世界経済の減速懸念や金融政策の不透明感が強まり急落する展開となりました。年末は過度な警戒感が後退し反発したほか、2019年1月にパウエルFRB（米国連邦準備制度理事会）議長が利上げ停止を示唆したことが好感され上昇基調となりました。第94期末にかけては米中貿易交渉の進展期待などから堅調な動きとなりました。

グローバル株式市場と同様に、グローバルインフラ株式市場（円換算）も下落したものの下落幅はグローバル株式に比べて限定的でした。

国内短期金融市場

国内短期金融市場は、日銀のマイナス金利政策の継続から国庫短期証券3カ月の利回りはマイナスの水準で推移しました。

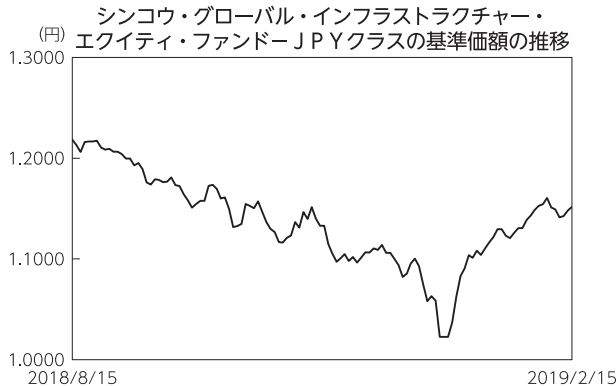


■ポートフォリオについて（2018年8月16日～2019年2月15日）

●当ファンド

円建受益証券のケイマン諸島籍外国投資信託「シンコウ・グローバル・インフラストラクチャー・エクイティ・ファンドーJ P Yクラス（以下「インフラファンドーJ P Yクラス」という）」を通じて、世界のインフラ関連企業が発行する上場株式などに実質的に投資しました。「インフラファンドーJ P Yクラス」は、原則として、米ドル売り、円買いの為替取引を行うことにより、為替変動リスクを軽減する運用を行いました。また、国内籍親投資信託「短期公社債マザーファンド」を通じてわが国の短期公社債に実質的に投資しました。

「インフラファンドーJ P Yクラス」の組入比率は当作成期間を通じて高位を維持し、第94期末時点では96.5%程度としました。一方、「短期公社債マザーファンド」の組入比率は第94期末時点で0.7%程度としました。



●シンコウ・グローバル・インフラストラクチャー・エクイティ・ファンド

一貫してボトムアップ・アプローチおよびトップダウン・アプローチに基づき、主として世界各国に上場するインフラストラクチャー関連の株式などに投資を行いました。米ドル以外の通貨建ての有価証券に対して、原則として対米ドルでの為替取引を行い、米ドルベースで現地源泉税を含む諸経費を考慮したトータルリターンを追求しました。

●短期公社債マザーファンド

流動性や信用力を勘案し、残存1年以内の公社債を中心としたポートフォリオで運用を行う方針でしたが、ファンドにとって損失の発生が明らかなマイナス利回りの債券の組入れは行わず、決算日時点の債券組入比率はゼロとしました。

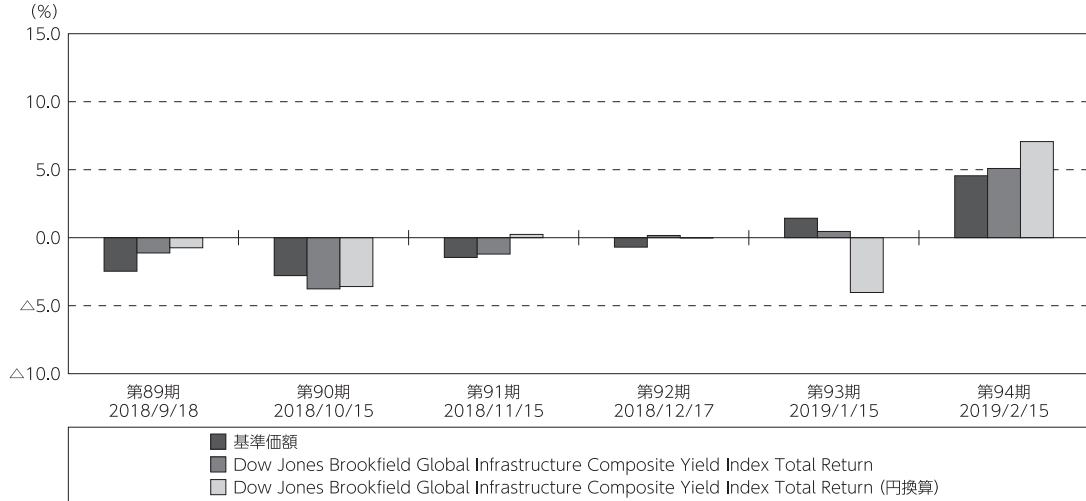
このような運用の結果、10,189円でスタートした基準価額は、第94期末には10,185円と下落しました。

ベンチマークとの差異について（2018年8月16日～2019年2月15日）

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

グラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。ただし、実際の運用では、米ドル以外の通貨建ての有価証券に対して、原則として対米ドルでの為替取引を行い、さらに米ドル売り、円買いの為替取引を行っているため、為替変動のリスクが低減されています。

【基準価額と参考指数の対比（期別騰落率）】



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

■ 分配金（2018年8月16日～2019年2月15日）

収益分配金につきましては基準価額水準・市況動向等を勘案し、以下の表の通りとさせていただきます。なお、収益分配金に充てなかった利益は信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

■ 分配原資の内訳

(単位:円、1万口当たり、税込み)

項目	第89期	第90期	第91期	第92期	第93期	第94期
	2018年8月16日～ 2018年9月18日	2018年9月19日～ 2018年10月15日	2018年10月16日～ 2018年11月15日	2018年11月16日～ 2018年12月17日	2018年12月18日～ 2019年1月15日	2019年1月16日～ 2019年2月15日
当期分配金	80	80	40	40	40	40
(対基準価額比率)	0.817%	0.847%	0.433%	0.438%	0.434%	0.417%
当期の収益	80	80	40	33	40	40
当期の収益以外	—	—	—	6	—	—
翌期繰越分配対象額	2,895	2,899	2,944	2,938	2,940	2,944

- (注1) 「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金」(税込み)の額が一致しない場合があります。
- (注2) 当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金」(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。
- (注3) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益(含、評価益)」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

今後の運用方針

●当ファンド

世界のインフラ関連企業の動向やファンドの資金流出入に留意しながら、「インフラファンドー J P Yクラス」を高位に組み入れて運用を行う方針です。また、国内短期金融市場やファンドの資金流出入に留意しながら、「短期公社債マザーファンド」の組み入れを適宜行う方針です。

●シンコウ・グローバル・インフラストラクチャー・エクイティ・ファンド

グローバルインフラ株式市場の見通しは、堅調な経済活動と安定した資金調達市場に支えられ、依然として明るいものとなっています。

北米の「石油・ガス貯蔵・配送」セクターに対する見通しは、規制に関する報道などもあり妥当と判断するバリュエーションから割安に取引されていることからポジティブに見ています。

金利動向が不透明ななか、低成長な公益銘柄に対しては慎重な姿勢を維持しています。一方で、投資機会が幾分か見受けられるようになり、英国では規制見直しによる収益性や国有化を巡る懸念は行き過ぎで、特に「水道」セクターの株価は非常に割安感があると見えています。

資産クラスとしてのグローバルインフラ株式は、現在の金利環境下において魅力的な利回りを提供するディフェンシブ資産に対する投資家需要が継続していることから、今後、アウトパフォーマンスに転じる可能性があるかとみており、引き続き割安と判断される魅力的な銘柄に厳選して投資を行っていきます。

しかしながら、マクロ経済動向や最近の地政学的イベントがグローバルインフラ株式に対して不相応な影響を与える可能性があるため、注意を払っていく方針です。

●短期公社債マザーファンド

引き続き、短期公社債等で運用を行い、安定した収益の確保を目指しますが、市況環境によっては、目標とする運用ができない場合があります。

○1万口当たりの費用明細

(2018年8月16日～2019年2月15日)

項 目	第89期～第94期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 57	% 0.615	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(18)	(0.191)	投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各種書類の作成、基準価額の算出等の対価
（ 販 売 会 社 ）	(38)	(0.408)	販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
（ 受 託 会 社 ）	(2)	(0.016)	受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(b) そ の 他 費 用	0	0.002	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 監 査 費 用 ）	(0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
合 計	57	0.617	
期中の平均基準価額は、9,345円です。			

※期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

※金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

※各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

※比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。項目ごとに小数点以下第4位を四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2018年8月16日～2019年2月15日)

投資信託証券

銘 柄		第89期～第94期			
		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
国 内	シンコウ・グローバル・インフラストラクチャー・ エクイティ・ファンドーJ PYクラス	口 —	千円 —	口 160,579,145	千円 183,000

※金額は受渡代金。

○利害関係人との取引状況等

(2018年8月16日～2019年2月15日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2019年2月15日現在)

ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘	柄	第88期末		第94期末		
		口	数	口	数	評 価 額
			口	口	千円	%
	シンコウ・グローバル・インフラストラクチャー・ エクイティ・ファンドーJ P Yクラス	735,875,432		575,296,287	662,511	96.5
	合 計	735,875,432		575,296,287	662,511	96.5

※比率は、第94期末の純資産総額に対する評価額の割合。

※金額は、単位未満を切り捨ててあります。比率は、小数第2位を四捨五入しています。なお、合計は、切り捨て・四捨五入の関係で合わない場合があります。

親投資信託残高

銘	柄	第88期末		第94期末	
		口	数	口	数
			千口	千口	千円
	短期公社債マザーファンド	5,039		5,039	5,132

親投資信託の決算日における組入資産の明細につきまして、後述の親投資信託の「運用報告書」に記載しております。

○投資信託財産の構成

(2019年2月15日現在)

項	目	第94期末	
		評 価 額	比 率
		千円	%
	投資信託受益証券	662,511	95.5
	短期公社債マザーファンド	5,132	0.7
	コール・ローン等、その他	25,955	3.8
	投資信託財産総額	693,598	100.0

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第89期末	第90期末	第91期末	第92期末	第93期末	第94期末
	2018年9月18日現在	2018年10月15日現在	2018年11月15日現在	2018年12月17日現在	2019年1月15日現在	2019年2月15日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	879,396,407	824,805,830	761,604,788	713,430,216	708,687,222	693,598,359
コール・ローン等	29,702,118	28,020,784	22,760,399	27,307,469	28,586,797	25,954,385
投資信託受益証券(評価額)	822,560,007	773,650,764	705,710,611	680,989,473	674,967,151	662,511,204
短期公社債マザーファンド(評価額)	5,134,282	5,134,282	5,133,778	5,133,274	5,133,274	5,132,770
未収入金	22,000,000	18,000,000	28,000,000	—	—	—
(B) 負債	22,281,631	17,939,117	25,522,434	5,909,072	6,014,210	6,743,011
未払収益分配金	7,057,668	6,892,698	3,204,172	3,115,027	3,063,429	2,876,122
未払解約金	14,196,022	10,285,766	21,493,120	2,021,350	2,286,000	3,136,412
未払信託報酬	1,025,176	758,678	823,022	770,703	663,063	728,612
未払利息	56	30	53	59	54	39
その他未払費用	2,709	1,945	2,067	1,933	1,664	1,826
(C) 純資産総額(A-B)	857,114,776	806,866,713	736,082,354	707,521,144	702,673,012	686,855,348
元本	882,208,619	861,587,320	801,043,114	778,756,826	765,857,366	719,030,606
次期繰越損益金	△ 25,093,843	△ 54,720,607	△ 64,960,760	△ 71,235,682	△ 63,184,354	△ 32,175,258
(D) 受益権総口数	882,208,619口	861,587,320口	801,043,114口	778,756,826口	765,857,366口	719,030,606口
1万口当たり基準価額(C/D)	9,716円	9,365円	9,189円	9,085円	9,175円	9,553円

○損益の状況

項 目	第89期	第90期	第91期	第92期	第93期	第94期
	2018年8月16日～ 2018年9月18日	2018年9月19日～ 2018年10月15日	2018年10月16日～ 2018年11月15日	2018年11月16日～ 2018年12月17日	2018年12月18日～ 2019年1月15日	2019年1月16日～ 2019年2月15日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	8,140,593	7,951,751	7,448,129	3,418,750	3,361,848	3,194,586
受取配当金	8,142,284	7,952,834	7,449,783	3,420,445	3,362,913	3,195,803
支払利息	△ 1,691	△ 1,083	△ 1,654	△ 1,695	△ 1,065	△ 1,217
(B) 有価証券売買損益	△ 29,000,127	△ 30,565,825	△ 17,648,079	△ 7,672,754	7,205,611	27,479,491
売買益	682,615	309,519	348,093	16,417	8,743,485	30,681,847
売買損	△ 29,682,742	△ 30,875,344	△ 17,996,172	△ 7,689,171	△ 1,537,874	△ 3,202,356
(C) 信託報酬等	△ 1,027,885	△ 760,623	△ 825,089	△ 772,636	△ 664,727	△ 730,438
(D) 当期繰損益金(A+B+C)	△ 21,887,419	△ 23,374,697	△ 11,025,039	△ 5,026,640	9,902,732	29,943,639
(E) 前期繰越繰損益金	△105,087,727	△130,760,922	△149,464,673	△159,018,840	△164,287,515	△147,681,217
(F) 追加信託差損益金	108,938,971	106,307,710	98,733,124	95,924,825	94,263,858	88,438,442
(配当等相当額)	(221,854,255)	(216,689,702)	(201,484,414)	(195,891,647)	(192,660,902)	(180,893,795)
(売買損益相当額)	(△112,915,284)	(△110,381,992)	(△102,751,290)	(△ 99,966,822)	(△ 98,397,044)	(△ 92,455,353)
(G) 計(D+E+F)	△ 18,036,175	△ 47,827,909	△ 61,756,588	△ 68,120,655	△ 60,120,925	△ 29,299,136
(H) 収益分配金	△ 7,057,668	△ 6,892,698	△ 3,204,172	△ 3,115,027	△ 3,063,429	△ 2,876,122
次期繰越繰損益金(G+H)	△ 25,093,843	△ 54,720,607	△ 64,960,760	△ 71,235,682	△ 63,184,354	△ 32,175,258
追加信託差損益金	108,938,971	106,307,710	98,733,124	95,924,825	94,263,858	88,438,442
(配当等相当額)	(221,854,254)	(216,689,702)	(201,484,414)	(195,891,647)	(192,660,902)	(180,893,795)
(売買損益相当額)	(△112,915,283)	(△110,381,992)	(△102,751,290)	(△ 99,966,822)	(△ 98,397,044)	(△ 92,455,353)
分配準備積立金	33,603,246	33,148,766	34,360,307	32,981,631	32,541,275	30,859,023
繰越損益金	△167,636,060	△194,177,083	△198,054,191	△200,142,138	△189,989,487	△151,472,723

- ・信託報酬等には、消費税相当額を含めて表示しております。
- ・追加信託差損益金とは、追加設定をした金額のうち元本を上下する額を処理する項目で配当等相当額と売買損益相当額にわかれます。

注記事項

- ・信託財産に係る作成期首元本額、作成期中追加設定元本額及び作成期中一部解約元本額

作成期首元本額	942,882,077円
作成期中追加設定元本額	20,323,540円
作成期中一部解約元本額	244,175,011円
- ・分配金の計算過程
 - 第89期

計算期間末における費用控除後の配当等収益(7,112,426円)、費用控除後、繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益(0円)、信託約款に定める収益調整金(221,854,254円)及び分配準備積立金(33,548,488円)より分配対象収益は262,515,168円(1万口当たり2,975.63円)であり、うち7,057,668円(1万口当たり80円)を分配しております。
 - 第90期

計算期間末における費用控除後の配当等収益(7,190,902円)、費用控除後、繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益(0円)、信託約款に定める収益調整金(216,689,702円)及び分配準備積立金(32,850,562円)より分配対象収益は256,731,166円(1万口当たり2,979.73円)であり、うち6,892,698円(1万口当たり80円)を分配しております。
 - 第91期

計算期間末における費用控除後の配当等収益(6,622,713円)、費用控除後、繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益(0円)、信託約款に定める収益調整金(201,484,414円)及び分配準備積立金(30,941,766円)より分配対象収益は239,048,893円(1万口当たり2,984.20円)であり、うち3,204,172円(1万口当たり40円)を分配しております。
 - 第92期

計算期間末における費用控除後の配当等収益(2,645,762円)、費用控除後、繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益(0円)、信託約款に定める収益調整金(195,891,647円)及び分配準備積立金(33,450,896円)より分配対象収益は231,988,305円(1万口当たり2,978.94円)であり、うち3,115,027円(1万口当たり40円)を分配しております。
 - 第93期

計算期間末における費用控除後の配当等収益(3,150,077円)、費用控除後、繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益(0円)、信託約款に定める収益調整金(192,660,902円)及び分配準備積立金(32,454,627円)より分配対象収益は228,265,606円(1万口当たり2,980.51円)であり、うち3,063,429円(1万口当たり40円)を分配しております。
 - 第94期

計算期間末における費用控除後の配当等収益(3,118,256円)、費用控除後、繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益(0円)、信託約款に定める収益調整金(180,893,795円)及び分配準備積立金(30,616,889円)より分配対象収益は214,628,940円(1万口当たり2,984.95円)であり、うち2,876,122円(1万口当たり40円)を分配しております。

○分配金のお知らせ

	第89期	第90期	第91期	第92期	第93期	第94期
1 万口当たり分配金（税込み）	80円	80円	40円	40円	40円	40円

1. 分配金のお支払いは、決算日から起算して5営業日までに開始いたします。
2. 自動継続投資契約を結んだ方のお手取り分配金は、決算日の基準価額（分配落ち）にもとづき、それぞれの口座に再投資いたしました。
3. 分配金は普通分配金に課税されます。
4. 元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

※分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により普通分配金と元本払戻金（特別分配金）にわかれます。分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は全額普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は、下回る部分に相当する額が元本払戻金（特別分配金）、残りの部分が普通分配金となります。

シンコウ・グローバル・インフラストラクチャー・ エクイティ・ファンド

J P Yクラス/AUDクラス/BRLクラス/ZARクラス

当ファンドの仕組みは次のとおりです。

形態	ケイマン諸島籍外国投資信託/円建受益証券
運用方針	<p>ボトムアップ・アプローチおよびトップダウン・アプローチに基づき、主として世界各国に上場するインフラストラクチャー関連の株式などに投資を行います。</p> <p>米ドル以外の通貨建ての有価証券に対して、原則として当該有価証券の発行通貨売り/米ドル買いの為替取引を行い、米ドルベースで現地源泉税を含む諸費用を考慮したトータルリターンを追求します。</p> <p>そのうえで、クラスごとに以下の為替取引を行います。</p> <p>J P Yクラス：原則として、米ドル売り、円買いの為替取引を行います。</p> <p>AUDクラス：原則として、米ドル売り、豪ドル買いの為替取引を行います。</p> <p>BRLクラス：原則として、米ドル売り、ブラジルレアル買いの為替取引を行います。</p> <p>ZARクラス：原則として、米ドル売り、南アフリカランド買いの為替取引を行います。</p> <p>現時点において「Dow Jones Brookfield Global Infrastructure Composite Yield Index」を参考指数としております。</p>
主な投資制限	<ul style="list-style-type: none"> ・原則として、有価証券の空売りは行いません。 ・純資産総額の10%を超える借り入れは行いません。 ・同一企業の発行済株式数の半数を超える株式への投資は行いません。 ・原則として、流動性に欠ける資産への投資は、純資産総額の15%以内とします。
決算日	9月末
信託報酬等	<p>純資産総額に対し年率0.61%程度</p> <p>上記料率には、投資顧問会社、副投資顧問会社、受託会社ならびに管理事務代行会社への報酬が含まれます。ただし、これら報酬の中には取引頻度に応じた額や最低支払額が設定されているものがあるため、取引頻度や資産規模などにより上記料率を上回る場合があります。</p>
主な関係法人	<p>投資顧問会社：アセットマネジメントOne株式会社</p> <p>副投資顧問会社：AMP キャピタル・インベスターズ・リミテッド</p> <p>受託会社：ブラウン・ブラザーズ・ハリマン・トラスト・カンパニー（ケイマン）リミテッド</p> <p>管理事務代行会社兼保管受託銀行：ブラウン・ブラザーズ・ハリマン・アンド・カンパニー</p>

シンコウ・グローバル・インフラストラクチャー・エクイティ・ファンド

「シンコウ・グローバル・インフラストラクチャー・エクイティ・ファンドーJPY クラス」、「シンコウ・グローバル・インフラストラクチャー・エクイティ・ファンドーAUD クラス」、「シンコウ・グローバル・インフラストラクチャー・エクイティ・ファンドーBRL クラス」および「シンコウ・グローバル・インフラストラクチャー・エクイティ・ファンドーZAR クラス」は、「シンコウ・グローバル・インフラストラクチャー・エクイティ・ファンド」の個別クラスとなっております。

シンコウ・グローバル・インフラストラクチャー・エクイティ・ファンド
(ケイマン諸島のユニット・トラスト)

(1) 投資明細表

2018年9月28日現在

(日本円表示)

株数	有価証券の銘柄	純資産比率 (%)	公正価値 (円)
	普通株式 (92.0%)		
	オーストラリア (8.9%)		
	商業サービス (4.9%)		
201,317	Atlas Arteria Ltd. (a)	2.0	115,484,943
180,300	Transurban Group (a)	2.9	166,256,286
			<u>281,741,229</u>
	電力 (1.3%)		
420,979	Spark Infrastructure Group (a)	1.3	77,499,329
	パイプライン (2.7%)		
189,597	APA Group (a)	2.7	155,507,556
	オーストラリア合計		<u>514,748,114</u>
	ブラジル (0.5%)		
	商業サービス (0.5%)		
145,711	EcoRodovias Infraestrutura e Logistica SA	0.5	29,673,392
	ブラジル合計		<u>29,673,392</u>
	カナダ (21.2%)		
	電力 (1.0%)		
35,640	Hydro One Ltd.	1.0	61,508,621
	パイプライン (20.2%)		
78,318	Enbridge, Inc.	5.0	286,844,227
117,600	Gibson Energy, Inc.	3.6	211,018,180
76,252	Pembina Pipeline Corp.	5.1	294,085,515
81,882	TransCanada Corp.	6.5	376,023,218
			<u>1,167,971,140</u>
	カナダ合計		<u>1,229,479,761</u>

シンコウ・グローバル・インフラストラクチャー・エクイティ・ファンド

株数	有価証券の銘柄	純資産比率 (%)	公正価値 (円)
	フランス (3.7%)		
	エンジニアリング・建設 (3.7%)		
19,614	Vinci SA	3.7	212,239,453
	フランス合計		212,239,453
	イタリア (7.8%)		
	商業サービス (2.2%)		
54,369	Atlantia SpA	2.2	128,178,764
	エンターテインメント (4.7%)		
467,337	RAI Way SpA	4.7	269,741,896
	電気通信 (0.9%)		
63,702	Infrastrutture Wireless Italiane SpA	0.9	53,660,430
	イタリア合計		451,581,090
	メキシコ (2.5%)		
	エンジニアリング・建設 (1.4%)		
12,500	Grupo Aeroportuario del Centro Norte SAB de CV - ADR	1.4	80,858,320
	不動産投資信託 (1.1%)		
571,400	CFE Capital S de RL de CV	1.1	62,128,383
	メキシコ合計		142,986,703
	スペイン (2.0%)		
	エンジニアリング・建設 (2.0%)		
49,528	Ferrovial SA	2.0	116,765,764
	スペイン合計		116,765,764
	スイス (0.8%)		
	エンジニアリング・建設 (0.8%)		
2,052	Flughafen Zuerich AG	0.8	47,340,663
	スイス合計		47,340,663
	英国 (9.5%)		
	ガス (2.5%)		
124,903	National Grid Plc.	2.5	146,414,506
	水 (7.0%)		
193,186	Pennon Group Plc.	3.5	204,080,813
41,050	Severn Trent Plc.	2.0	112,425,613
84,447	United Utilities Group Plc.	1.5	88,058,661
			404,565,087
	英国合計		550,979,593
	米国 (35.1%)		
	電力 (13.1%)		
7,600	CMS Energy Corp.	0.8	42,299,053
14,400	Edison International	1.9	110,699,030
20,041	Evergy, Inc.	2.2	125,017,523
29,100	PG&E Corp.	2.6	152,077,932

シンコウ・グローバル・インフラストラクチャー・エクイティ・ファンド

株数	有価証券の銘柄	純資産比率 (%)	公正価値 (円)
25,187	Sempra Energy	5.6	325,423,433
	ガス (0.9%)		755,516,971
17,800	NiSource, Inc.	0.9	50,383,579
	パイプライン (18.3%)		
107,434	Enbridge Energy Management, LLC	2.3	133,255,566
150,111	Kinder Morgan, Inc.	5.2	302,302,841
91,694	Plains GP Holdings LP Class A	4.4	255,481,491
119,100	Williams Cos, Inc.	6.4	367,825,593
	不動産投資信託 (2.8%)		1,058,865,491
2,800	American Tower Corp.	0.8	46,210,921
9,400	Crown Castle International Corp.	2.0	118,866,928
	米国合計		165,077,849
	普通株式合計		2,029,843,890
	(取得原価 5,315,689,437円)		5,325,638,423
	投資合計		
	(取得原価 5,315,689,437円)		5,325,638,423

(a) ステーブル証券—ステイブル証券は、1つの売却可能な構成単位を形成するために契約上1つまたは複数個のその他の有価証券と結び付けられた金融商品の一種です。

純損益を通じて公正価値で測定する金融資産および金融負債合計	純資産比率 (%)	公正価値 (円)
普通株式合計	92.0	5,325,638,423
先渡為替予約に係る未実現評価益合計	4.6	127,768,960
先渡為替予約に係る未実現評価損合計	(3.2)	(45,089,913)
現金およびその他の資産 (負債控除後)	6.6	378,702,765
純資産	100.0	5,787,020,235

(2) 財政状態計算書

2018年9月28日現在

(日本円表示)

	2018年9月28日 (円)
資産	
流動資産	
純損益を通じて公正価値で測定する金融資産	5,453,407,383
現金および現金同等物	475,159,429
相手方預け金	—
以下に関する未収入金：	
有価証券の売却	17,119,340
配当金	13,993,497
受益証券の発行	—
資産合計	<u>5,959,679,649</u>
負債	
流動負債	
純損益を通じて公正価値で測定する金融負債	45,089,913
相手方預かり金	53,384,949
以下に関する未払金：	
有価証券の購入	47,309,844
投資顧問会社報酬	18,041,884
専門家報酬	5,566,719
保管受託銀行報酬	1,870,796
管理事務代行会社報酬	944,262
名義書換代理人報酬	281,178
受託会社報酬	169,869
負債合計 (償還可能受益証券の保有者に帰属する純資産を除きます。)	<u>172,659,414</u>
償還可能受益証券の保有者に帰属する純資産	<u>5,787,020,235</u>

(3) 包括利益計算書

2018年9月28日終了年度

(日本円表示)

	2018年9月28日 (円)
収益	
受取配当金およびその他の収益	296,969,491
純損益を通じて公正価値で測定する金融資産および外貨換算に係る 実現(損失)／利益純額	(679,309,931)
純損益を通じて公正価値で測定する金融資産および金融負債ならびに 外貨換算に係る未実現(評価損)／評価益の純変動額	(622,124,786)
(損失)／収益合計	<u>(1,004,465,226)</u>
費用	
投資顧問会社報酬	43,031,286
取引手数料	11,824,338
保管受託銀行報酬	6,489,674
管理事務代行会社報酬	5,689,455
専門家報酬	5,181,817
受託会社報酬	1,104,860
名義書換代理人報酬	1,087,588
登録費用	591,082
費用合計	<u>75,000,100</u>
営業(損失)／利益	<u>(1,079,465,326)</u>
金融費用	
償還可能受益証券の保有者に対する分配金	<u>(1,491,039,096)</u>
分配金控除後税引前(損失)／利益	<u>(2,570,504,422)</u>
配当に係る源泉徴収税	<u>(59,686,040)</u>
償還可能受益証券の保有者に帰属する純資産の(減少)／増加額	<u>(2,630,190,462)</u>

(ブラウン・ブラザーズ・ハリマン・トラスト・カンパニー(ケイマン)リミテッド提供の監査財務書類より作成しております。)

短期公社債マザーファンド

第12期 運用報告書

(決算日 2018年8月22日)

『短期公社債マザーファンド』は、去る2018年8月22日に第12期の決算を行いましたので、ここに期中の運用状況をお知らせいたします。

当ファンドの仕組みは次のとおりです。

形態	親投資信託
信託期間	原則、無期限です。
運用方針	主としてわが国の短期公社債に投資し、利子等の安定した収益の確保をはかることを目的として運用を行います。
主要運用対象	わが国の公社債を主要投資対象とします。
組入制限	株式への投資は行いません。外貨建資産への投資は行いません。
分配方針	運用による収益は、信託終了時まで投資信託財産中に留保し、期中には分配を行いません。

アセットマネジメントOne 株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2

○最近3期の運用実績

決算期	基準価額		債組入比率	債先物比率	純資産額
	円	騰落率			
10期 (2016年8月22日)	10,200	0.00	64.0	—	百万円 385
11期 (2017年8月22日)	10,195	△0.05	—	—	375
12期 (2018年8月22日)	10,188	△0.07	—	—	375

※△(白三角)はマイナスを意味しています(以下同じ)。

※実質的に本邦通貨建の公社債に投資を行い、安定した収益の確保を目指して運用を行いますが、特定の指数を上回るまたは連動を目指した運用を行っていないため、また、値動きを表す適切な指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

※ベンチマークとは、ファンドの運用成果の評価基準(目標基準)となる指標をいい、約款または投資信託説明書(目論見書)において、その旨の記載があるものを指します。

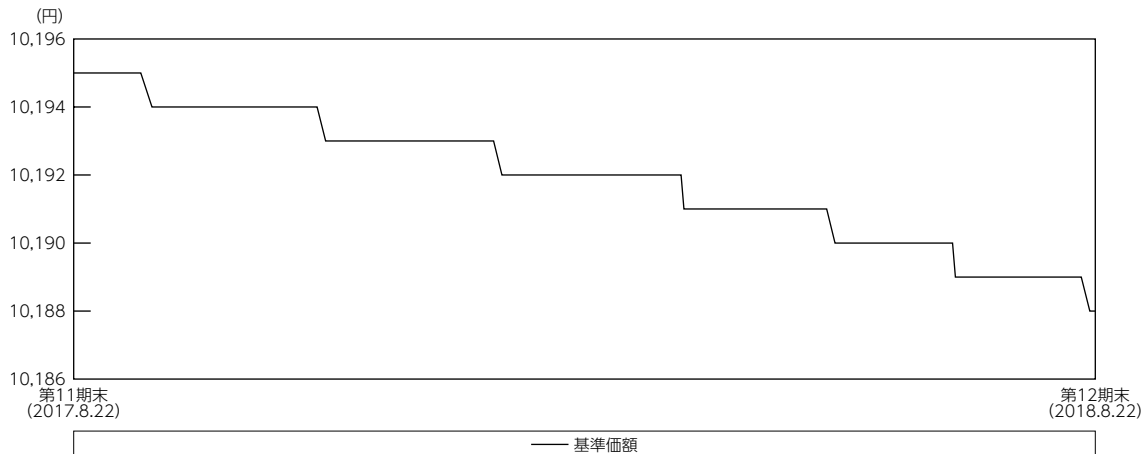
○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		債組入比率	債先物比率	券率
	円	騰落率			
(期首) 2017年8月22日	10,195	—	—	—	—
8月末	10,195	0.00	—	—	—
9月末	10,194	△0.01	—	—	—
10月末	10,194	△0.01	—	—	—
11月末	10,193	△0.02	—	—	—
12月末	10,193	△0.02	—	—	—
2018年1月末	10,192	△0.03	—	—	—
2月末	10,192	△0.03	—	—	—
3月末	10,191	△0.04	—	—	—
4月末	10,191	△0.04	—	—	—
5月末	10,190	△0.05	—	—	—
6月末	10,190	△0.05	—	—	—
7月末	10,189	△0.06	—	—	—
(期末) 2018年8月22日	10,188	△0.07	—	—	—

※騰落率は期首比。

運用経過の説明

基準価額等の推移



基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主としてわが国の短期公社債に投資し、安定した収益の確保を目指した運用を行います。

基準価額はマイナス金利の影響もあり期首10,195円から、10,188円に7円の値下がりとなりました。

投資環境

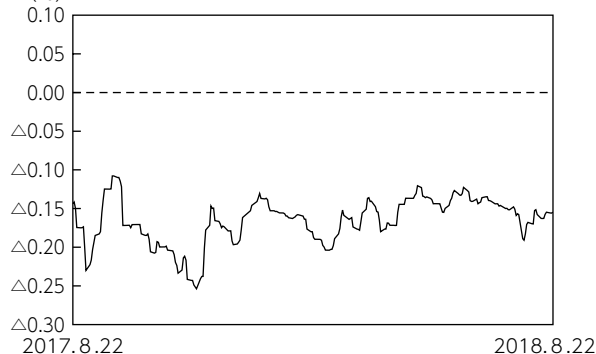
●国内債券市場

当期間の残存1年程度の日本国債の利回りについては、日銀の金融緩和の影響もあり、マイナス金利が継続しました。日銀は黒田総裁の第2期以降も「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」を続けています。

また、2018年7月の日銀政策決定会合において、長期金利を0%程度に誘導する目標自体は維持しつつ、変動幅の上限を0.2%程度まで容認する金融政策の調整を行いました。発表直後は、一時的にボラティリティが高まる場面もありましたが、イールドカーブは全体的に狭いレンジでの動きに留まっています。

一方、国債を除く債券については、プラス利回りに対するニーズも強いことから、0%前後の利回りに張り付いた状態になっています。

国庫短期証券 (TB) 3ヵ月利回りの推移



※国庫短期証券 (TB) 3ヵ月利回りの低下は価格の上昇を示し、逆の場合は下落したことを示します。

■ ポートフォリオについて

主としてわが国の公社債に投資を行い、安定した収益の確保を目指した運用を行いました。ファン
ドにとって損失の発生が明らかなマイナス利回りの債券の組み入れを行わず、期末時点での債券の組み
入れはありません。

■ ベンチマークとの差異について

本邦通貨建ての公社債に投資を行い、安定した収益の確保を目指して運用を行いますが、特定の指数
を上回るまたは連動を目指した運用を行っていないため、また、値動きを表す適切な指数がないため、
ベンチマークおよび参考指数はありません。よってグラフは掲載していません。

今後の運用方針

引き続き残存1年以内の公社債を中心に投資を行い、安定した収益の確保を目指しますが、市場環境
によっては、目標とする運用ができない場合があります。

○1万口当たりの費用明細

(2017年8月23日～2018年8月22日)

該当事項はございません。

○売買及び取引の状況

(2017年8月23日～2018年8月22日)

該当事項はございません。

○利害関係人との取引状況等

(2017年8月23日～2018年8月22日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2018年8月22日現在)

2018年8月22日現在、有価証券等の組入れはございません。

○投資信託財産の構成

(2018年8月22日現在)

項 目	当 期	
	評 価 額	比 率
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	千円 375,595	% 100.0
投 資 信 託 財 産 総 額	375,595	100.0

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2018年8月22日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資 産	375,595,509円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	375,595,509
(B) 負 債	720
未 払 利 息	720
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	375,594,789
元 本	368,647,987
次 期 繰 越 損 益 金	6,946,802
(D) 受 益 権 総 口 数	368,647,987口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,188円

○損益の状況 (2017年8月23日～2018年8月22日)

項 目	当 期
(A) 受 取 利 息 等 収 益	△ 241,831円
支 払 利 息	△ 241,831
(B) 当 期 利 益(A)	△ 241,831
(C) 前 期 繰 越 損 益 金	7,188,633
(D) 計 (B+C)	6,946,802
次 期 繰 越 損 益 金(D)	6,946,802

注記事項

・投資信託の期首元本額、期中追加設定元本額及び期中一部解約元本額

期首元本額	368,647,987円
期中追加設定元本額	-円
期中一部解約元本額	-円

期末元本の内訳

新光ピュア・インド株式ファンド	218,092,300円
新光ブラジル債券ファンド	107,294,012円
世界好配当アドバンスト・インフラ株式ファンド (通貨選択型) 円コース	5,039,539円
世界好配当アドバンスト・インフラ株式ファンド (通貨選択型) 豪ドルコース	17,759,859円
世界好配当アドバンスト・インフラ株式ファンド (通貨選択型) ブラジルリアルコース	18,509,839円
世界好配当アドバンスト・インフラ株式ファンド (通貨選択型) 南アフリカランドコース	1,014,560円
世界好配当アドバンスト・インフラ株式ファンド (通貨選択型) マネープールファンド	937,878円
合 計	368,647,987円